



9.17アップデート



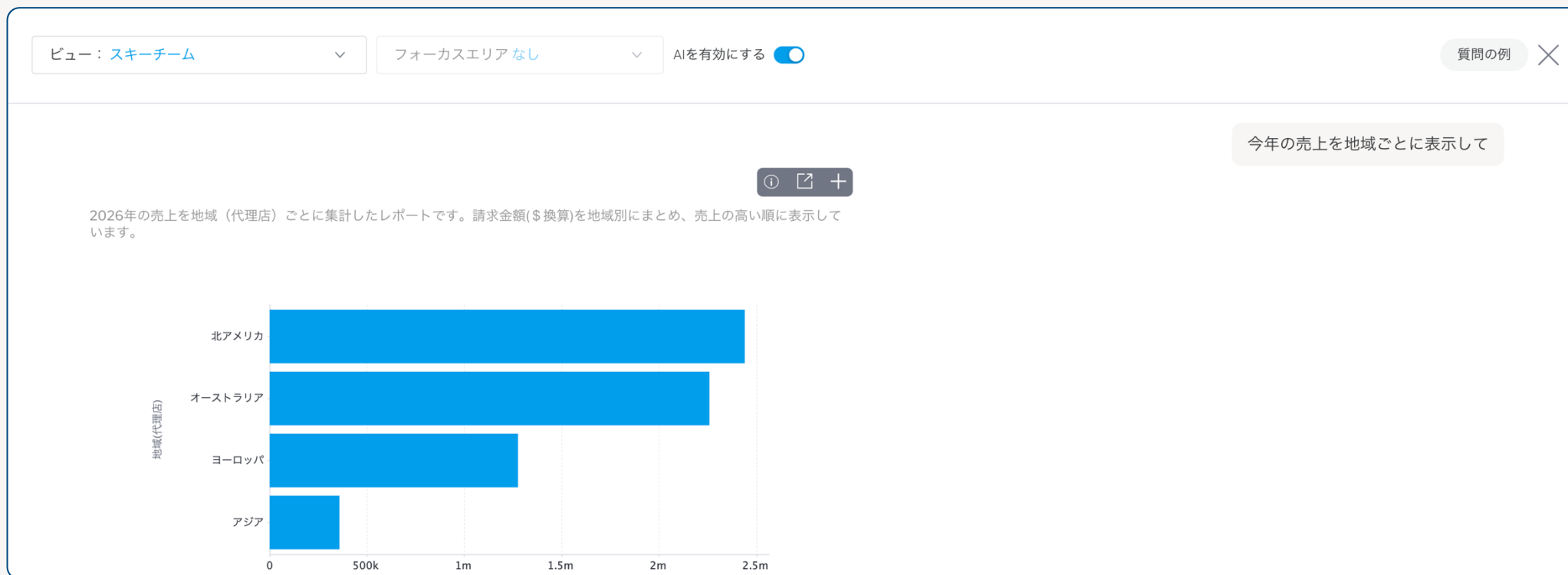
9.17アップデート

- AI関連
 - AI対応のNLQを刷新
- UI関連
 - レスポンシブ対応 第1弾
 - 定義された日付期間を分類
- レポート
 - レポートを編集せずにカラムを変更
 - 条件付き書式を行全体に適用
 - Set分析の結果がない場合にゼロを表示
 - 区切り文字列集約フォーマッター
- ダッシュボード
 - ダッシュボードフィルターの自動実行設定
 - ダッシュボードツールバーにエクスポートボタン
- 管理
 - コンテンツのインポートに新しい機能を追加
 - システム構成の変更内容をイベントとして記録
 - クライアントソースでカスタムカラム
 - 新しいログインセッションオプション
- パフォーマンス改善
 - 大規模なクライアント組織管理の速度改善
 - コンテンツフォルダーのアクセス権設定の速度改善

AI対応のNLQを刷新

AI関連

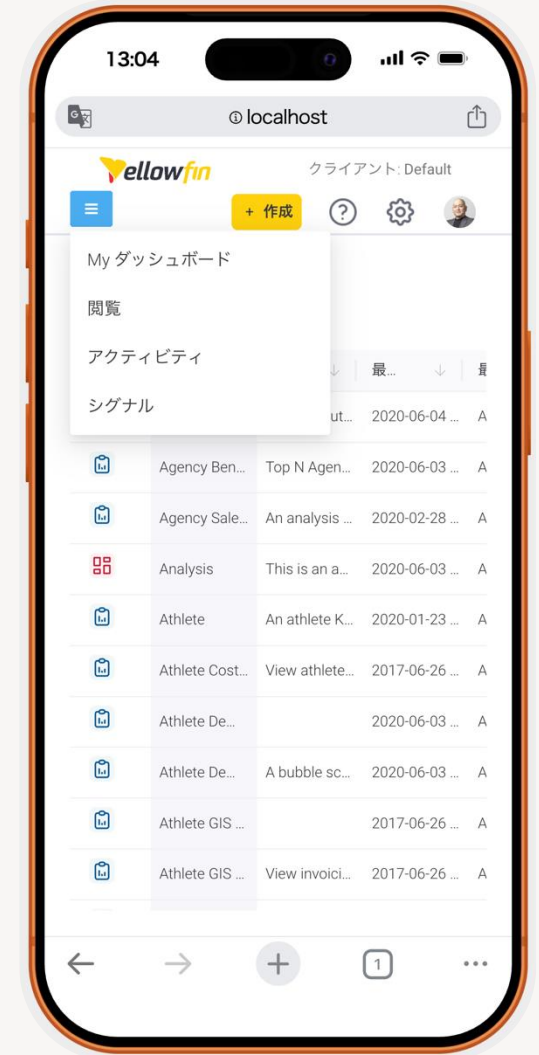
- AI対応のNLQがより対話的に利用できるようになりました。
- 新しくなったAI対応のNLQは、ユーザーが入力した質問文からAIが表示する表やグラフを決定し、その内容を説明したテキストとともに返します。
- 表示したグラフから、LLMが生成したアプローチを確認することもできます。



レスポンス対応 第1弾

UI関連

- 以下のエリアが自動的に画面サイズに適応するようになりました。
 - トップナビゲーションメニュー
 - 自然言語クエリー
 - ストーリー
 - 閲覧ページ
 - 閲覧ページでの共有や詳細の編集など、いくつかのポップアップウィンドウ
 - 埋め込みレポートの数値グラフ



定義された日付期間を分類

UI関連

- フィルターで使用する定義された日付期間を日付の種類ごとにカテゴライズしました。
- 日/週/月/四半期/年がそれぞれまとまって表示されるようになり、日付が選択しやすくなりました。
- 暦上の日付と会計上の日付がそれぞれ別々のカテゴリーに分類されるようになったので、日付期間の表記もわかりやすいかたちに変更しています。



The diagram illustrates the reorganization of date periods into categories. On the left, a dropdown menu shows a flat list of various date periods. On the right, the same dropdown menu shows these periods grouped into distinct categories, making them easier to navigate.

Before (Left):

- 今日
- 昨日
- 今週
- 今月(暦上)
- 月初から今日(暦上)
- 今四半期(暦上)
- 翌四半期
- 四半期初から今日(暦上)
- 前年同四半期(暦上)
- 今四半期(会計上)
- 今年(暦上)
- 年初から今日(暦上)
- 今年(会計上)
- 年初から今日(会計上)
- 前週(暦上)
- 前週(会計上)
- 今日から過去 7 日間
- 前月(暦上)
- 過去 4 週間

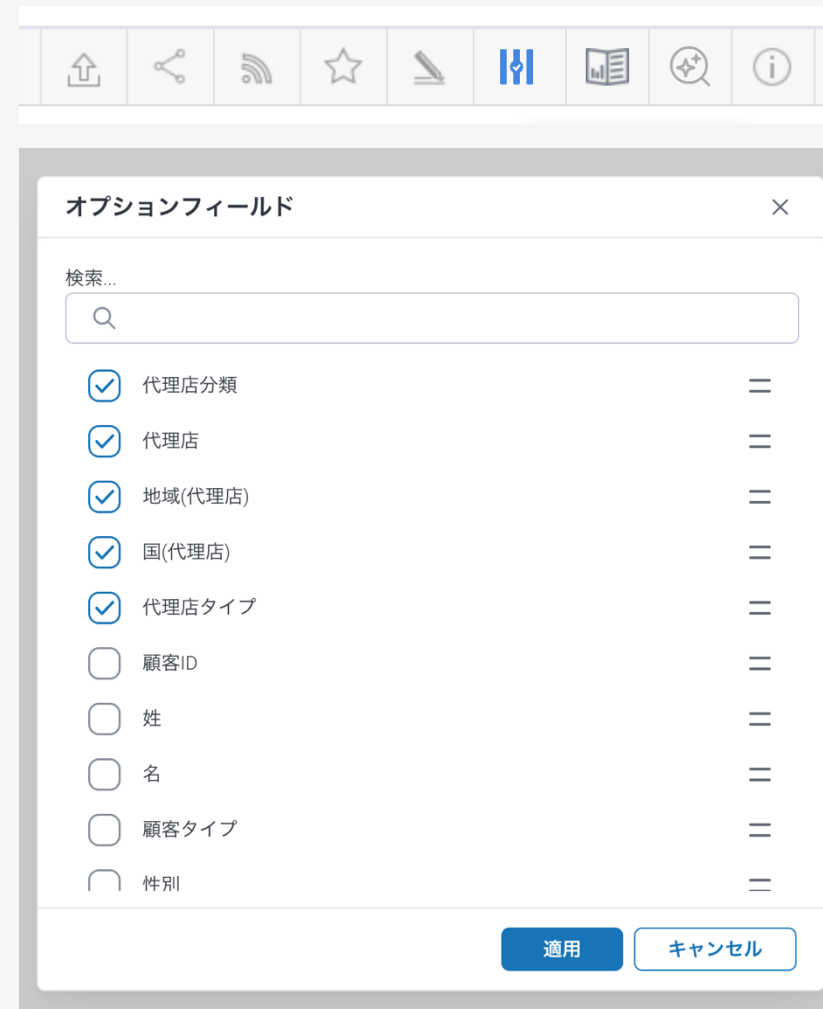
After (Right):

- 日
- 今日
- 昨日
- 今日から過去 7 日間
- 前日から過去 7 日間
- 次の 30 日
- 次の 60 日
- 次の 90 日
- 週
- 今週
- 前週
- 過去 4 週間
- 過去 8 週間
- 過去 12 週間
- 営業週
- 前営業週
- 年月
- 今月
- 月初から今日

レポートを編集せずにカラムを変更

レポート

- 既存のレポートを編集せずに、カラムの表示/非表示や、並び順を変更することができます。
- 変更した内容はユーザーごとに保存されるため、次回同じレポートを開いた時にカラムを選択しなおす必要はありません。
- 非表示にしたカラムは画面に表示されなくなるだけでなく、クエリーからも削除されます。
- レポートを作成する際に、表示/非表示を切り替え可能なカラムを指定することは可能ですが、以下の点に注意してください：
 - サブクエリーの結合条件に使用しているフィールドは非表示にできない
 - グラフや計算フィールドで使用しているフィールドを非表示にすると、グラフやレポートがエラーになる場合がある



条件付き書式を行全体に適用

レポート

- カラム/ロウ形式のレポートで、指定したカラムの条件付き書式を表の行全体に適用できるようになりました。
- 個別のカラムに設定されている条件付き書式がある場合は、そのカラムの条件付き書式が優先されます。

条件付き書式
請求金額が100,000,000を超えている行の背景色を青にしております。

メディアカテゴリー	メディア	顧客数	請求金額
ウェブサイトを見て	ウェブサイトのボタン	1,751	482,572,911
ウェブサイトを見て	バナー	959	8,781,465
ウェブサイトを見て	検索	120	3,313,343
エージェント	メール	333	237,346,525
ブロードキャスト	掲示板	569	41,370,170
雑誌	ダイレクトメール	695	7,154,606
雑誌	雑誌広告	1,744	79,438,461
知人からの紹介	お友達	348	3,670,814

条件付き書式一覧

セル	顧客数 より大きい(>) 1,000
セル	請求金額 より大きい(>) 100,000,000

レポートフィールド

条件付き書式

一般設定

条件付き書式オプション

カラム(列)

メディアカテゴリー

メディア

顧客数

請求金額

表示

アラートの凡例

アラートの凡例
レポートに条件付き書式ルール of 凡例を表示します。

凡例のタイトル
条件付き書式ルール of 凡例のタイトルを設定します。

凡例の説明
条件付き書式ルール of 凡例の説明を設定します。

行/列の条件付き書式を適用
他のセルに既に別の条件付き書式が適用されている場合を除き、選択したフィールドに設定されている条件付き書式を行全体または列全体に適用します。

請求金額

Set分析の結果がない場合にゼロを表示

レポート

- グラフのSet分析は、その式の結果が得られなかった場合にエラーになりますが、エラーではなくゼロを返すように設定できるようになりました。
- フィルターの選択肢によって数値グラフがエラーになってしまうような場合に、ゼロを返すことでグラフを表示したままにすることができるようになります。
- これまでのようにエラーを返すことも可能です。

Set分析
代理店タイプごとの顧客数を表示します。
代理店分類によって取り扱いのないタイプが存在します。

ゼロを返す設定

初心者向け	一般向け	上級者向け
617	0	371

エラーを返す設定（従来どおり）

初心者向け	一般向け	上級者向け
617	現在このグラフにはデータがありません。	371

代理店分類	代理店タイプ	顧客数
店舗	初心者向け	617
店舗	上級者向け	371

区切り文字列集約フォーマッター

レポート

- カンマなどの区切り文字を含む文字列を値を省略して表示するフォーマッターを追加しました。
- カンマ区切りの文字列がデータソースにない場合でもSTRING_AGG関数やGROUP_CONCAT関数といった、複数行の値を区切り文字付きの文字列で返す関数と併用することもできます。
- ※STRING_AGG関数やGROUP_CONCAT関数を使用するためにはカスタム関数を作成する必要があります。

区切り文字列集約フォーマッター

カンマ区切りの市区町村名をフォーマッターで集約します

都道府県名	市区町村	自治体数
北海道	豊富町, +178	179
青森県	新郷村, +39	40
岩手県	滝沢市, +32	33
宮城県	亘理町, +34	35
秋田県	湯上市, +24	25
山形県	高畠町, +34	35
福島県	白河市, +58	59
茨城県	行方市, +43	44
栃木県	塩谷町, +24	25
群馬県	草津町, +34	35
埼玉県	熊谷市, +62	63
千葉県	鋸南町, +53	54
東京都	三鷹市, +61	62
神奈川県	平塚市, +32	33
新潟県	柏崎市, +29	30
富山県	黒部市, +14	15

ダッシュボードフィルターの自動実行設定

ダッシュボード

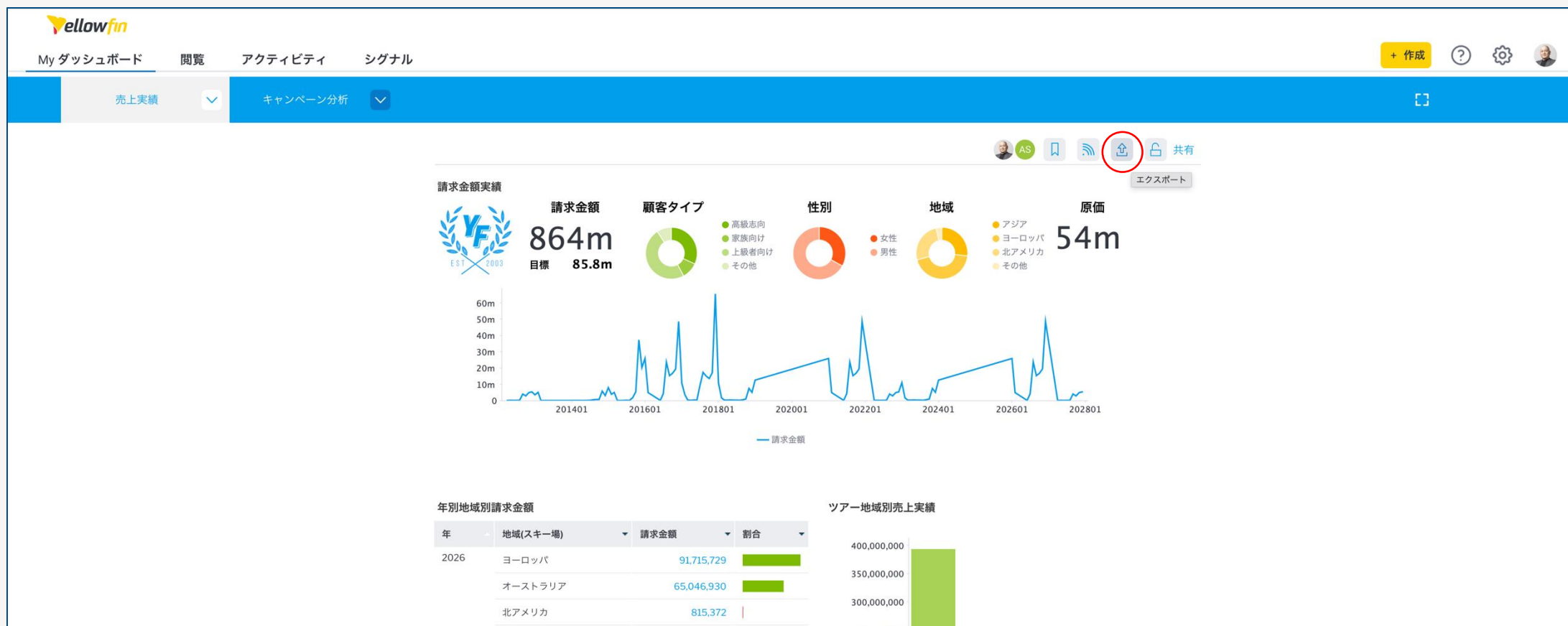
- フィルター付きのダッシュボードを表示する際に、ダッシュボード上のレポートを自動実行するかどうかをダッシュボードのプロパティで設定できるようになりました。
- 「自動実行する」に設定すると、ダッシュボードを表示したタイミングでダッシュボード上のレポートも自動的に実行されます。
- 「自動実行しない」に設定すると、ダッシュボードを表示したタイミングでダッシュボード上のレポートは表示されず、フィルターを適用した時に初めて実行されるようになります。
- 「レポートの設定を継承」に設定すると、レポートのフィルターの書式にある「レポートの自動実行」の設定によって動作が変わります。
 - 「レポートの自動実行」が有効な場合、「自動実行する」と同じ動作になります。
 - 「レポートの自動実行」が無効な場合、「自動実行しない」と同じ動作になります。

※フィルターを持たないダッシュボードでは、設定内容に関係なく、レポートは自動実行されます。

ダッシュボードツールバーにエクスポートボタン

ダッシュボード

- ダッシュボードのブックマークアイコンやブロードキャストアイコンの並びにエクスポートボタンを表示しました。
- 大量のダッシュボードタブをお気に入り登録していても、エクスポートの操作が容易になります。



コンテンツのインポートに新しい機能を追加

管理

- コンテンツをインポートする際に、以下のアイテムに既存のコンテンツを使用することができるようになりました。
 - フィルターキャッシュがカスタムクエリーに設定されている場合の接続先データソース
 - 関連コンテンツに設定しているレポート（ドリルスルー先のレポート）
 - キャンバスで使用している画像

The screenshot shows the Yellowfin 'Import' interface. The main dashboard area displays the 'Import' status with a date of 2026-02-26 and a count of 7 items. A table lists imported items, including 'Ski Team logo 4' and 'エクスポート/インポート'. A right-hand panel titled 'エクスポート/インポート' (Export/Import) shows options to select existing content for various components like logos, reports, and data sources.

システム構成の変更内容をイベントとして記録

管理

- システム構成で変更した設定内容がEventテーブルに記録されるようになりました。

```
1 SELECT * FROM public.event
2 WHERE eventtypecode = 'REPORTADMIN' AND eventcode = 'UPDATECONFIG';
```

データ出力 メッセージ 通知

SQL

表示中の行: 1 ~ 10

	eventid integer	ipsource integer	eventtypecode character varying (40)	eventcode character varying (40)	gmtdatetime numeric (15)	eventdate date	eventtime integer	eventdata character varying (8000)
1	275043	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260226044417	2026-02-26	0	REPORTLOWMEMORYEXPORT=false,CUSTOMPREFERREDDATEFORMAT=,VERIFYREQUESTNONCETOKEN=OFF,BROADCASTREPORTALL...
2	275044	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260226044612	2026-02-26	0	WIKILINK=https://wiki.yellowfin.co.jp/,COLUMNORDERING=1,EXTERNALURL=http://localhost:8917/,DEFAULTUSERICONFONT=null
3	275523	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260226063839	2026-02-26	0	ISOLANGUAGE=ja en ,MULTILANGUAGE=true
4	275763	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260226071933	2026-02-26	0	FINANCIALSTARTMONTH=4
5	277175	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260313071738	2026-03-13	0	NAVIGATION_STYLE=TOOLBAR
6	277284	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260316052215	2026-03-16	0	NAVIGATION_STYLE=MODERNTOOLBAR
7	277379	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260316055500	2026-03-16	0	NLQ_AI_BY_DEFAULT=true
8	278154	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260317024358	2026-03-17	0	FIRSTDAYOFWEEK=2
9	278155	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260317024415	2026-03-17	0	MULTILOGONACTION=ASK,ALLOWSSUPERADMIN=ON
10	278156	5	REPORTADMIN	UPDATECONFIG	20260317024422	2026-03-17	0	

クライアントソースでカスタムカラム

管理

- クライアントソースの置換機能を利用して、デフォルト組織で定義したカラムを、クライアント組織で別のカラムに置換することができるようになりました。
- ISVが取り扱うパッケージ製品によっては、顧客ごとにパッケージ標準のテーブルにカラムを追加するようなカスタマイズを提供しているケースがあります。Yellowfinでこれらのカスタムカラムを使用してレポートを作成する場合、これまではクライアント組織内で個別にレポートを作成する必要がありました。

パッケージ標準のテーブルレイアウト

ID	名前	性別

カスタマイズしていない顧客向けの組織（カスタムカラムは表示されない）

ID	名前	性別

A社向けカスタマイズ（住所が追加されている）

ID	名前	性別	住所

クライアント組織A（カスタムカラムに住所が表示される）

ID	名前	性別	住所

B社向けカスタマイズ（生年月日が追加されている）

ID	名前	性別	生年月日

クライアント組織B（カスタムカラムに生年月日が表示される）

ID	名前	性別	生年月日

新しいログインセッションオプション

管理

- Yellowfinにログインする方法として、デフォルトのログイン画面を表示せずに、シングルサインオンのエントリーページからログインさせている場合に使用できるオプションです。
- デフォルトのログイン画面を表示せずに、シングルサインオンでYellowfinにアクセスする環境では、メールなどで配信されたコンテンツのURLから対象のコンテンツにアクセスするためには複雑な実装が必要でした。
- 新しくSSOのログインセッションオプションとしてREDIRECTURLを実装したことで、このような環境であっても、より簡単に対象のコンテンツにアクセスできるようになります。

Yellowfinのデフォルトのログイン画面を表示せずに、SSOのエントリーページ（別のURL）にリダイレクトさせる方法



フォローする

問題

YellowfinにSSOを設定した後も、ユーザーが組織独自のSSOログインポータルではなく、Yellowfinのデフォルトのログインページに誘導される場合があります。

例えば：

1. ユーザーがアプリケーションからログオフした場合、Yellowfinのデフォルトのログインページが表示されます。
2. アイドル状態のユーザーが、アプリケーション内で次の操作を行う前にタイムアウトの閾値に達した場合、Yellowfinのデフォルトのログインページが表示されます。
3. 現在ログインしていないユーザーが、Yellowfinの特定のレポートまたはダッシュボードへの外部リンクにアクセスを試みた場合、Yellowfinのデフォルトのログインページが表示されます。

通常、SSOを設定している場合、Yellowfin ユーザーがYellowfinにアクセスする主要なエントリーポイントとして、独自のSSOログインポータルのみを使用することを想定していると思います。

解決策

前述のログインしていないユーザーで起こりうるすべてのシナリオに対応し、Yellowfin ユーザーを常にSSOログインページポータルにリダイレクトするには、次の手順を実行します。

手順1：ユーザーをSSOログインページにリダイレクトするために一般的に使用できるカスタムJSPを作成

次のコードをテキストエディターに貼り付けます。「your_login_page_URL」を、忘れずに特定のSSOポータルのログイン/ランディングページのURLに置き換えてください。

```
<%  
response.sendRedirect("your_login_page_URL");  
%>
```

<https://support.yellowfin.co.jp/hc/ja/articles/900007043823>

パフォーマンス改善

- 数千規模のクライアント組織を運用している場合に、以下のポイントでパフォーマンスが低下してしまうことがあったため、処理速度を改善しました。
 - ログイン時のクライアント組織選択
 - クライアント組織管理画面
 - クライアントソースの置換のリスト表示

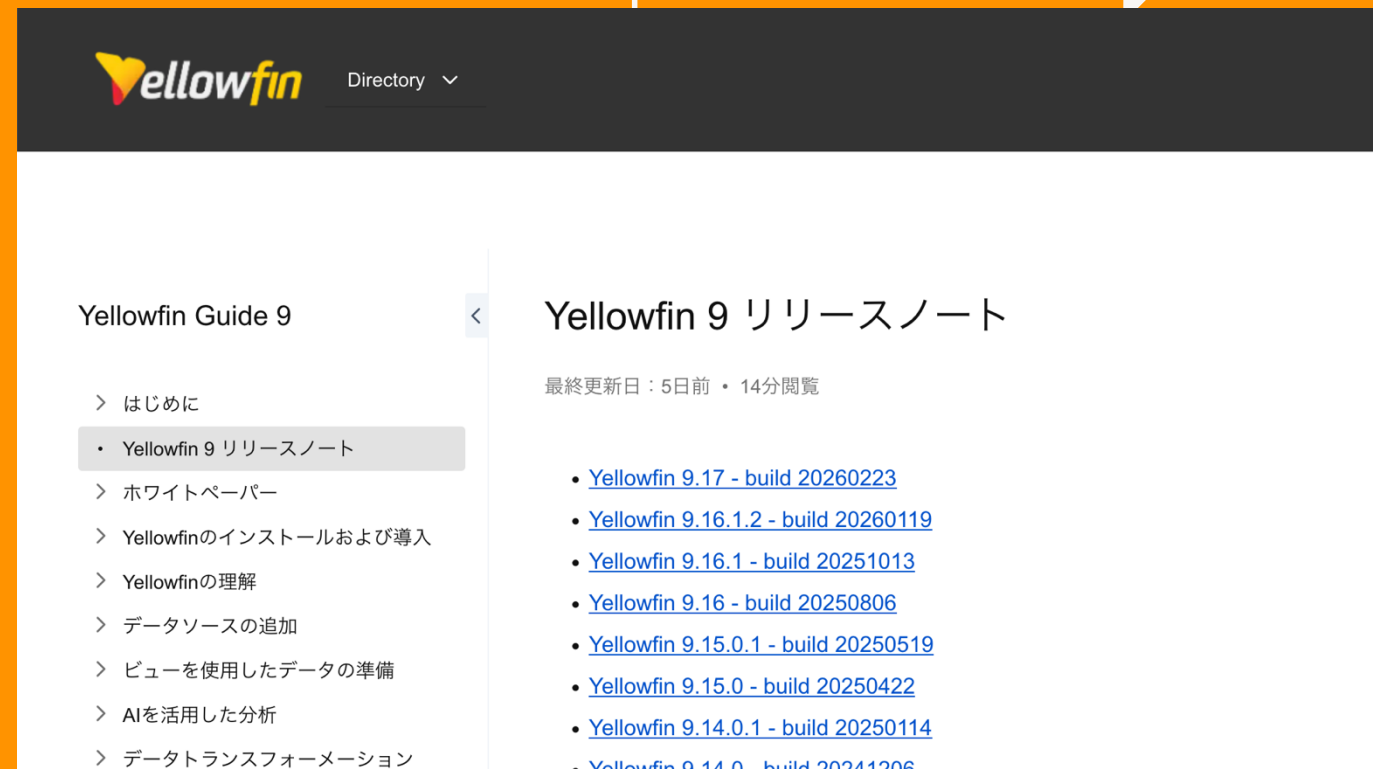
コンテンツフォルダーのアクセス権設定の速度改善

パフォーマンス改善

- コンテンツフォルダーのアクセス権を設定する際の更新処理速度を改善しました。
- マルチテナントでコンテンツを展開しているような場合に多くみられる、フォルダーのアクセス権に割り当てているユーザーやユーザーグループが多い場合に速度改善が見込めます。

新機能の詳細について

すべての機能強化の詳細は、
リリースノートをご確認ください



The screenshot shows the Yellowfin 9 Release Notes page. The header includes the Yellowfin logo and a 'Directory' dropdown menu. The main content area is divided into two columns. The left column, titled 'Yellowfin Guide 9', contains a list of navigation items: 'はじめに', 'Yellowfin 9 リリースノート' (highlighted), 'ホワイトペーパー', 'Yellowfinのインストールおよび導入', 'Yellowfinの理解', 'データソースの追加', 'ビューを使用したデータの準備', 'AIを活用した分析', and 'データトランスフォーメーション'. The right column, titled 'Yellowfin 9 リリースノート', displays the release notes with a sub-header '最終更新日：5日前・14分閲覧' and a list of links for various builds: 'Yellowfin 9.17 - build 20260223', 'Yellowfin 9.16.1.2 - build 20260119', 'Yellowfin 9.16.1 - build 20251013', 'Yellowfin 9.16 - build 20250806', 'Yellowfin 9.15.0.1 - build 20250519', 'Yellowfin 9.15.0 - build 20250422', 'Yellowfin 9.14.0.1 - build 20250114', and 'Yellowfin 9.14.0 - build 20241206'.

